

プログラム	登壇者	
	岩手会場	京都会場
開催日時	10月24日(日) 13:30~16:30	11月7日(日) 13:30~16:30
開催場所	ホテルメトロポリタン盛岡(岩手県盛岡市)	京都新聞文化ホール(京都市)
1. ご挨拶【10分】	増田岩手県知事	(調整中)
2. 基調講演【20分】 ・「日本21世紀ビジョン」の目的、位置づけ 生活・地域WGでの検討課題と方向性 (別添「八代主査メモ」参照)	八代尚宏	山田昌弘
3. 先進事例報告【30分】 ・パネルディスカッションを盛り上げるとともに検討材料とするために、イントロとして地域活動事例を紹介	<p><b>【事例1：アサザ基金】</b> 地域の産業振興と環境保護を両立した事例。 地域の住民、学校、企業など広範囲の人々が連携し、霞ヶ浦の水辺環境の復元を实践。</p> <p><b>【事例2：不忘アザレア】</b> 破綻したスキー場を、市民の協力を得ながらNPOが運営することにより、大幅に収益が改善。</p> <p><b>【事例3：わらび】</b> 地域貢献活動に参加する「助っ人ボランティア」に対してお礼として発行。わらびと交換出来る「わらび本位制」を採用。</p>	<p><b>【事例1：ごめん・なはり線を支援する会】</b> 沿線地方公共団体の住民が鉄道のファンクラブに入り、地域ぐるみで地域の足となる鉄道の運営を応援。</p> <p><b>【事例2：NPO子供ネットワークセンター元気村】</b> 子供の野外遊びを重視し、子供が地域の自然とふれあう機会を提供。 預ける側の都合に合わせて保育日を選べる保育園の運営。</p> <p><b>【事例3：ガーディアン・エンジェルス京都支部】</b> 治安の悪化に対して、多くのボランティアがパトロールに参加。 商店街や企業からの寄付のほか、クレジットカード利用額の一部が自動的に寄付される仕組みを作っている。</p>
休憩【10分】		
4. パネルディスカッション【1時間35分】 ・先進事例報告、会場の意見等を踏まえ、パネリストが地域の再構築を図る上での課題等について幅広く議論	<p><b>【進行役】</b> 岩手日報社 編集局報道部長 吉田誠一</p> <p><b>【パネリスト】</b> 小西砂千夫(関西学院大学大学院経済学研究科教授) 野田由美子(PWCアドバイザー(株)パートナー/プロジェクトファイナンス・民営化部門統括) 牧慎太郎(総務省自治行政局自治政策課情報政策企画官) 佐々木豊志(くりこま高原自然学校主宰) (アクセシブル盛岡の代表者 調整中)</p>	<p><b>【進行役】</b> 京都新聞社(調整中)</p> <p><b>【パネリスト】</b> 垣内恵美子(政策研究大学院大学政策研究科教授) 藻谷浩介(日本政策投資銀行地域企画部参事役) 白石秀俊(国土交通省国土計画局地方計画課地方計画調整官) 初鹿野聡(NPOきよたけ郷ハートム代表/建築士) (その他1名 調整中)</p>
5. クロージング【15分】 ・地域の再構築を図る上での課題等を整理し、「日本21世紀ビジョン」への提言とする	岩手日報社 編集局報道部長 吉田誠一 八代尚宏	京都新聞社(調整中) 山田昌弘